

丸亀で会いましょう

市内企業でも「働き方改革」が進んでいます



(左から)
池田卓也さん (株式会社池田工務店 代表取締役)
和泉清憲さん (丸亀シティーサービス協同組合 代表理事)
馬場健輔さん (株式会社馬場建設工業 代表取締役)

丸亀市では、今年度市内企業3社にワーク・ライフ・バランス推進のためのコンサルタントを派遣し、社員の視点から働きやすい職場環境をつくるための支援を行いました。今回は、その取り組みの内容や効果について、3人にお話を聞かせていただきました。

本事業に取り組むことにしたきっかけ

池田: 人手不足が著しい昨今では、建設業界全体として「働き方改革」の必要性が叫ばれています。しかし、当社のような小規模な会社では対応できないと思っていたところ、本事業のことを知り、この機会に社員全員でチャレンジしようと思いました。

和泉: 業務に比較的時間の余裕があり同一作業の反復が多いことから、本来目指すべき安全や確実に業務を行うことに支障をきたす懸念がありました。研修を通してのスキルアップ等、自社での取り組みも行ってきましたが、より充実した職場環境をつくり、意欲的に仕事ができる環境づくりを目指し、取り組みました。

馬場: 従業員の働きやすい環境づくりや人材育成のために、専門家の意見や、他社の取組内容に関する情報を得たいと思いました。そのほか、自分自身の視野を広げたいとの思いもありました。

取組内容

池田: ・社員アンケートやヒアリングを実施。それらにより明らかになった当社の現状と社員の本音に対する、経営者サイドの姿勢・取り組みを整理。
 ・すぐに対応できる課題 (例えば休日の確実な取得、社内での意見交換の場の設定など) について社員全員で打開策を検討・実施。
 ・社員間の人間関係の改善が必要との思いから、「お互いの長所を見る」セミナーを全員で受講。

和泉: ・業務の幅を広げるため、他業務への調査を含めたアプローチ。
 ・円滑な業務の遂行のためのコミュニケーション研修。
馬場: ・当社の求める人材像の整理、人材育成方針の決定。経営理念の文章化。
 ・コミュニケーションを取りやすくするために、全従業員が意見を言いやすいような場を設置。

取り組みの効果

池田: 労使間で真剣に「働き方」について考え、取り組んだことにより、社員間の会話が増え、社内の風通しが良くなりました。また、従来、トップダウンだった会社の利益向上についても議論するようになりました。

思いがけなかった効果として、これまで行ってきた当社の地域活動を評価していただき、「香川県子育て行動計画策定企業認証マーク」の取得にもつながりました。

和泉: コミュニケーション研修を通し言葉の大切さを再認識し、個性を尊ぶ風通しのいい職場環境に変化したように思います。また、余裕のある時間を、安全運行に関する研修に活用するとともに、他業務への取り組みも増えてきました。

馬場: 経営理念を文章化したことにより、会社のありべき姿について従業員も理解しやすくなりました。また、ミーティングスペースを設けたこともあって、若手社員も意見を述べやすくなり、分からないことはすぐに確認するなど、上司からの指示を待たずに積極的に行動するようになりました。

編集後記 ジェンダーにとらわれていない例を紹介します。あるおもちゃのブロックのカatalogでは「男の子向け」「女の子向け」ではなく「ヒーロー編」「なかよし編」など、テーマでの分類をしています。また、TVゲームでは、性別をこえて自由に服装を選べるものも増えています。こういう身近な所から、個人が自由に生きられる世界になっていくとよいですね。(T)



男女共同参画 川柳コンテストを開催

「男だから…、女だから…」という性別による決めつけ、家庭での家事分担に関することなど、「男女共同参画」をテーマに詠んだ川柳を募集したところ、233点の応募がありました。そのうちの入賞作品をご紹介します。

みなさんも、思い当たることはありませんか？



特別賞

(男女共同参画) 審議会会長賞

おいしいね パパの料理 うであげた!
 横井萌々香さん(飯野町東分)
 「エピソード」
 パパの料理が日に日に上手になっていくので、うれしいです。

最優秀賞

家事やるよ やるやる詐欺は もうごめん

「エピソード」
 家事を手伝うと言いながら、なかなか手伝っていない様子を川柳にしました。やると言うがすぐに行動しなければいけないと日々思う所です。やるやる詐欺は俺オレ詐欺をもじって川柳に取り入れました。

岩坂慎也さん(原田町)

優秀賞

家事指南 覚えぬ夫 似る息子

好多洋介さん (六番丁)

「エピソード」
 いつも母に言われる言葉です。リタイヤした父と二人暮らしの母は、老後に備え、父に掃除や洗濯・食事の支度、後片付けを少しずつ教えています。しかし、これまで何もしてこなかった父は失敗ばかり。「お父さんソックリや!!」と息子の私まで、とぼちちりで一緒に呆れられています。

参画で 仕事も家庭も いい未来

柿平光輝さん (三条町)

「エピソード」
 家事・育児とも共働き両親・兄妹が力をあわせる家庭として。

入選

シェアしよう ポスト・貸金・家事・育児

石井由美子さん(川西町北)

飯に風呂 亭主閑白 もう古い

伊藤千夏さん(三条町)

「ごはんまだ?」私も言いたい「ごはんまだ?」

高尾朋恵さん(通学先・飯山町)

副業で パティシエなれるよ お父さん

鐘ヶ江亜弥さん(土器町東)

お父さん 娘抱えて 幼稚園

小山純子さん(城西町)



表彰式の様子 (平成30年2月17日)